

SIIC PRESS

九州から世界を繋ぐ

2023/2024.

Vol. 33



一般社団法人
九州半導体・デジタルイノベーション協議会
Kyushu Semiconductor & Digital Innovation Association
愛称: SIIC [シーク]



新生シリコンアイランド九州へ向けて

特集1 事業展望と新生シリコンアイランド九州への期待

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)

特集2 九州の産業を支える物流拠点空港を目指して

北九州市 港湾空港局

INDEX

会長挨拶	3
------------	---

FEATURE | 特集1

事業展望と新生シリコンアイランド九州への期待

(ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社)	4～9
-----------------------------------	-----

FEATURE | 特集2

九州の産業を支える物流拠点空港を目指して

(北九州市 港湾空港局)	10～13
--------------------	-------

協議会概要	14～15
-------------	-------

活動報告	16～21
------------	-------

- ・ オープンイノベーション・モノづくり深化事業
- ・ コトづくり関連事業
- ・ 人材育成関連事業
- ・ 人材育成等コンソーシアム活動

2023年度新会員 ご紹介	22～25
---------------------	-------

会員一覧	26～27
------------	-------

事務局便り	28
-------------	----

SIIQ事務局紹介	28
-----------------	----



ごあいさつ

一般社団法人九州半導体・デジタルイノベーション協議会 会長

山口 宜洋

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 代表取締役社長

平素より一般社団法人九州半導体・デジタルイノベーション協議会（愛称:SIIQ）の事業運営に深いご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。この度（2023年6月）、SIIQ会長を拝命しました。

昨今の九州半導体産業を取り巻く環境は、「経済安全保障推進法」、「5G促進法」による半導体の国内生産体制強化・安定供給支援に伴い、国内屈指の半導体産業集積を有する九州への積極的な設備投資は加速している状況です。このような半導体産業を取り巻く環境の変化に伴い、SIIQに求められる役割や期待も益々大きく、また多様化してきております。

更に、これまでの企業間マッチングを主体とした“オープンイノベーション、モノづくりやコトづくり深化事業”に加えて、昨年9月に台湾の工業技術研究院（ITRI）と技術交流、ビジネスマッチング等、様々な連携を推進する為にMOUを締結しました。

一方、九州経済産業局が主管して推進している「九州半導体人材育成等コンソーシアム」へ事務局として参画し、産学官が連携した“人材育成”および“サプライチェーンの強靱化”への取り組みに中心的な役割を果たしています。

このような九州半導体産業を取り巻く環境の変化、期待の高まりに対し、事業継続性と自立（自律）化を目的として2023年6月に「九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会」は、一般社団法人として運営体制を転換し、名称を「九州半導体・デジタルイノベーション協議会」に変更致しました。

これは、世の中のDX化の流れのなか、SIIQも半導体・エレクトロニクス分野に留まらず、その先のデジタル社会への貢献まで活動の視野を広げ、その活動は九州から国内外に発信していくという強い意志を込めたものです。

今後とも会員の皆様のご理解とご協力が不可欠となりますので、引き続き宜しく願い申し上げます。

最後になりますが、前任のSIIQ会長であります三菱電機㈱ パワーデバイス製作所長 岩上徹様におかれましてはこれまでのSIIQ事業発展にご尽力頂きました事に感謝し、お礼申し上げます。

ありがとうございました。



（MOU締結式）

事業展望と 新生シリコンアイランド九州 への期待

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社

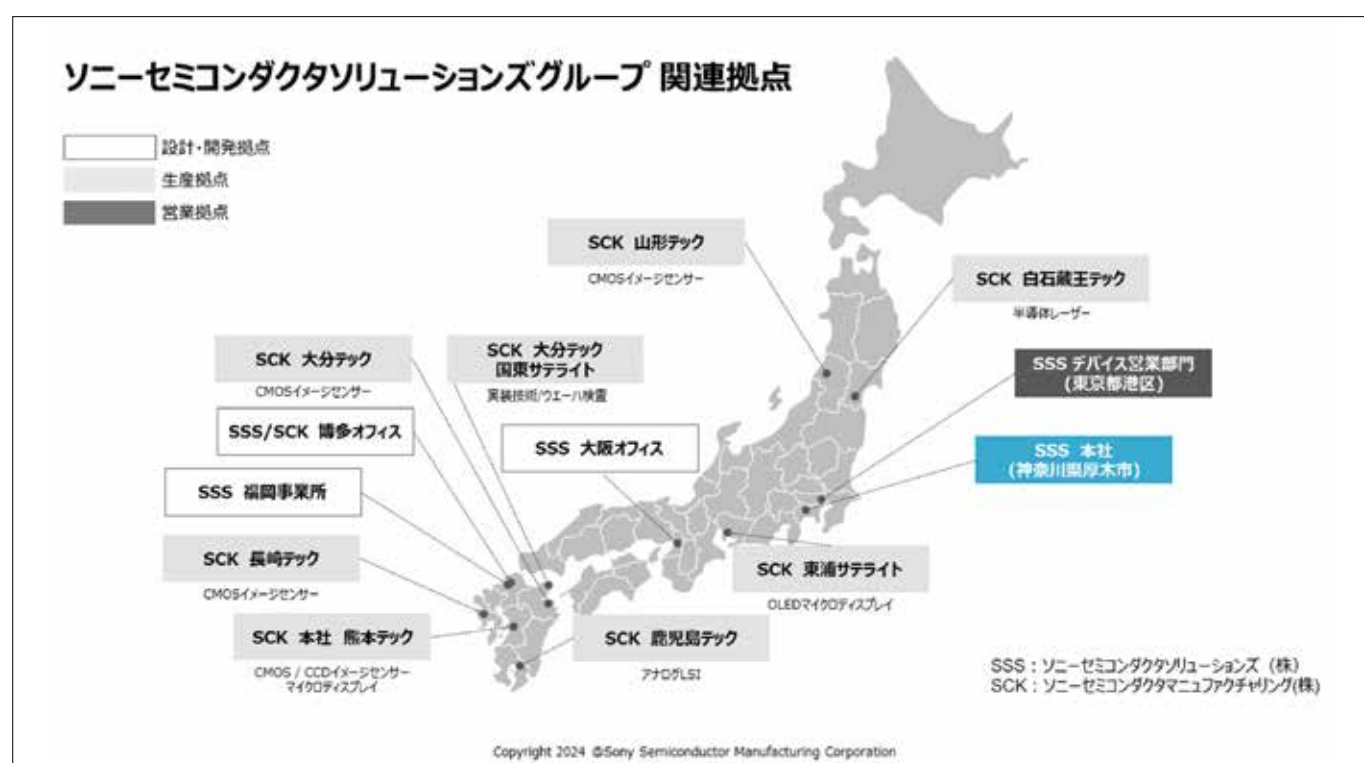
1 はじめに

現在の半導体市況は、新型コロナウイルス感染症拡大によってもたらされた人々の生活や価値観の変化、地政学リスクなどの影響により、大きな変動を見せています。半導体は、スマートフォンやパソコン、自動車などのさまざまな製品に欠かせないデバイスであり、近年ではDX（デジタルトランスフォーメーション）やGX（グリーントランスフォーメーション）といった社会変革を実現するためにも必要不可欠です。半導体の需要は今後も増加すると予測されているため、安定的な供給体制の確立が急務となっています。このような社会環境を踏まえて、当社の事業展望と新生シリコンアイランド九州への期待を述べます。

2 会社概要

ソニーグループの半導体事業は、1954年、日本で初めてトランジスタを商用化したことにさかのぼります。1970年代から1980年代にかけ、鹿児島（霧島市）、大分（国東市）、長崎（諫早市）に3つの半導体製造子会社を設立し、2001年4月に、3社を統合して当社（当時はソニーセミコンダクタ九州株式会社）をスタートしました。その後も九州を中心に、東北地方にも開発・生産拠点を拡大し、CMOSイメージセンサー市場において世界トップシェアを獲得しています。

現在は、親会社であるソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社（以下「SSS」）と共にソニーグループにおける半導体事



業（イメージング&センシング・ソリューション分野）を担っています。SSSは研究開発、商品企画・設計、営業を担当し、当社はプロセス・製品・技術開発、生産を担当しています。

国内にある6生産拠点のうち4拠点が九州（熊本、長崎、大分、鹿児島）にあり、イメージセンサーを中心とする各種半導体製品の開発と製造を行っています。また福岡に設計・開発拠点があります。

主力製品であるイメージセンサーは、「電子の眼」として、思い出を美しく残し、人々に楽しみや感動を提供するイメージング用途として発展してきました。それに加え、近年では、人間の眼には見えないさまざまな情報を取得・認識するセンシング用途も拡大しています。

当社のイメージセンサーは、モバイル用をはじめ、民生カメラ用、車載用、産業用など、幅広い分野の多彩なニーズに対応できる高性能なイメージセンサーをラインアップしています。その中でも、売上金額の8割強を占めるモバイル用イメージセンサーは、私たちの生活になくてはならないスマートフォンにおける写真や動画を使ったコミュニケーションの進化に貢献してきました。今後は、自動運転を実現するための車載用センシング、工場の自動化を実現するSmart Factoryや、より安全な社会に向けたスマートシティの実現においても、イメージセンサーが貢献できる領域は着実に広がると考えています。

ディスプレイデバイスは、高精細でありながら高コントラスト比、広色域、高速応答性を併せ持つ「OLEDマイクロディスプレイ」に注力しています。この技術は、電子ビューファインダーやデジタルシネマ用プロジェクターに使われており、今後はAR・VRへも搭載され市場成長が期待されています。

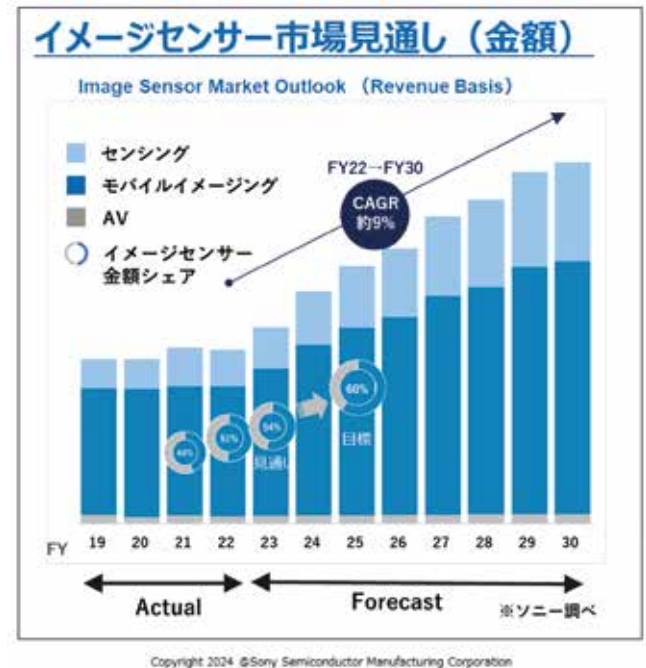
当社の半導体レーザーは、端面発光型レーザーと異なり上面から垂直に発光する垂直共振器面発光レーザー（Vertical Cavity Surface Emitting Laser:VCSEL）を特徴としており、3Dセンシング、光通信用途などに活用され利用拡大が期待されています。

事業展望

当社は、スマートフォンの浸透とSNSの普及、さらにカメラ機能や動画性能の向上を求めるニーズの高まりによりイメージセンサー事業を拡大してきました。

スマートフォンメーカー各社のハイエンドモデルを中心にイメージセンサーの大判化が進んだこと、一台のスマートフォンに

複数のイメージセンサーの搭載が進んだことにより、モバイル用イメージセンサー市場の規模は、想定通りに成長してきました。今後も中長期的に、モバイル用途向けがイメージセンサー市場全体の成長を牽引する見込みとなっており、金額ベースでは、2022年度から2030年度の間にCAGR約9%の見通しです。当社グループのシェアは、2022年度に金額ベースで51%（ソニー



調べ。指紋認証センサー除く）を占め、2025年度に向け60%に高めることを目標にしています。

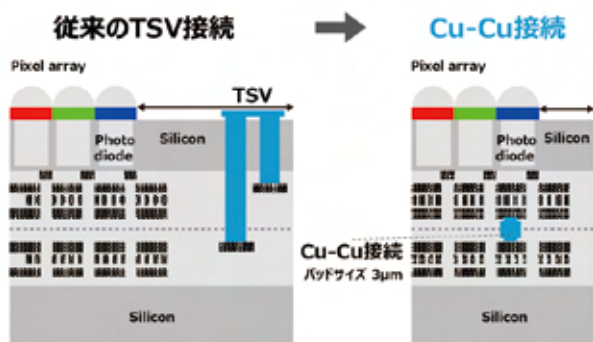
当社は、イメージングだけでなく、センシングの領域にも注力しており、車載用イメージセンサーの技術開発を加速しています。世界中の自動車メーカーやパートナーとのエンゲージメントを強化し、2025年度にはグローバルトップ自動車メーカー20社のうち85%との取引、金額シェアでは39%を獲得することをめざしています。産業用としては、多種多様なセンサーを総合的に駆使してユースケースを広げ、自動化や省人化を推進することで社会課題の解決に貢献していきます。

また、ハードウェアとソフトウェアの融合による提供価値の向上にも注力しています。2021年末に発表したエッジAIセンシングプラットフォーム「AITRIOS™」は、AI処理機能を搭載した世界初のインテリジェントビジョンセンサー IMX500をはじめとしたユニークなイメージセンサーの活用を促進するプラットフォームです。パートナーの活用を支援するための機能や開発環境などを提供し、自治体によるスマートシティプロジェクト、小売りや物流倉庫内の効率化に向けたソリューション開発などに取り組んでいます。

4 差異化技術・製造へのこだわり

当社は、半導体の製造会社として、ものづくりにこだわり、差異化技術を追求してきました。2010年度に「高画質裏面照射型CMOSイメージセンサーの開発と量産化」、2014年度に「積層型CMOSイメージセンサーの開発と量産化」、2018年度に「Cu-Cu直接接合手法を用いた積層型CMOSイメージセンサーの開発」、2022年度に「Cu-Cu接続を用いたヘテロニアス積層型高精細SWIRセンサーの開発」、とイメージセンサーで4度の大河内賞を受賞しています。一方ディスプレイデバイスでは、2020年度に「マイクロLEDを用いた高画質でスケーラブルな大型ディスプレイシステムの開発」、2023年度に「高輝度・高精細なOLEDマイクロディスプレイの開発と量産化」と、2度

イメージセンサーの差異化技術の追求（Cu-Cu接続） 2015年世界に先駆けて量産化、積層型の生産性と性能が飛躍的に向上



SONY 1/63 | 2023/11/29 Copyright 2023 Sony Semiconductor Solutions Corporation

の大河内賞を受賞しています。

当社の差異化技術の特徴であるCu-Cu接続技術とは、積層型CMOSイメージセンサーの画素チップと論理回路チップをそれぞれの積層面に形成したCu（銅）端子で直接接続する技術です。これにより画素チップを貫通する接続部が不要となり、接続孔の面積が無くなります。Cu-Cu接続の技術開発によりイメージセンサーのさらなる小型化を実現しました。更に、端子配置の自由度向上と高密度化が可能となり、積層型CMOSイメージセンサーの高機能化に貢献してきました。

また当社の特徴である積層技術を進化させ2021年に、世界初の2層トランジスタ画素積層型CMOSイメージセンサーの量産技術開発に成功しました。この技術により従来比約2倍の飽和信号量によるダイナミックレンジ拡大とノイズ低減を実現し、逆

光などの明暗差が大きいシーンでも白飛びや黒つぶれがなく、室内や夜景などの暗いシーンでもノイズの少ない高画質な撮影を可能にしています。

製造では、ロボットなどによる自動化を推進し、そこから得られるあらゆる情報を利活用するSmart Factory化に取り組んでいます。全ての情報をデータ化、統合、見える化し、製造に活用することで、製品の品質向上、生産性の向上や歩留り向上などの製造パフォーマンスを最大化します。更には、サイバー空間に格納されたさまざまなデータをシミュレーションに活用し、予測・考察した結果をフィジカルな実ラインで検証するデジタルツイン環境を構築し、製造を進化させていきます。

5 生産能力の拡大

SSSグループとして、2021年度から2023年度の3年間で約9,000億円の投資を実施しました。2024年度以降も成長機会を確実にとらえるための投資を継続していきます。

生産能力の拡大としては、長崎テクノロジーセンターで段階的に拡張してきた増設棟Fab5（以下、Fab5）のSTEP3（最終拡張部分）が、2023年12月に完成しました。

コロナ禍でも計画通りに竣工できたのはパートナー企業の皆様のご協力によるものと大変感謝しています。今後、事業環境を慎重に見極めたうえで、Fab5内への生産設備の拡充を行います。イメージセンサーの生産体制をさらに強化し、性能進化が進むスマートフォンカメラなどの市場に向けて、高画質で高性能なイメージセンサーを供給していきます。

6 環境への取り組み

ソニーグループは、自らの事業活動および製品のライフサイクルを通して、環境負荷をゼロにすることをめざしています。この究極の目標を達成するために策定されたものが、ソニーグループの環境計画「Road to Zero」です。この計画では、「環境負荷ゼロ」の達成年を2050年とし、そこに向けて段階的に環境中期目標を設定しながら行動します。2040年にカーボンニュートラルをめざしており、2030年までに自社事業活動について再生エネルギー使用率100%をめざしています。

多くの資源やエネルギーを必要とする半導体製造会社である当社は、CO2排出量の削減（省エネ・再エネ導入の促進）や

長崎増設棟 Fab5竣工

2023/9/13撮影



Copyright 2024 ©Sony Semiconductor Manufacturing Corporation

水資源リサイクルなどの責任を果たしていきたいと考えています。

熊本テクノロジーセンターでは1号棟と2号棟の屋上にメガソーラーパネルを設置し、事務所棟の電源やクリーンルームの空調用として使用しています。今後、長崎テクノロジーセンターや大分テクノロジーセンターへの導入も検討しています。

また、熊本の豊かな水資源を守るため、2003年度から「使った水はきちんと返そう」をスローガンに、白川中流域の「ざる^{でん}田」と呼ばれる地質特性を活かし、日本企業としては初めて、水田^{かんよう}湛水による「地下水涵養」事業を行っています。日照りが続いた2005年度と2019年度を除き、取水量以上の涵養量を達成しています（2022年度は約339万m³を涵養）。継続的な取り組みに対し、多数の外部表彰を受けており、2022年度は「令和4年度地域環境保全功労者賞」を受賞しました。

前述のFab5は、世界最新鋭工場として業界最高レベルのエネルギー高効率工場をめざして建設しました。例えば、半導体製造用クリーンルームの温湿度調整に使用する冷凍機やボイラーにおいては、AIを活用し、冷凍機を最小動力で稼働させる高度な運転制御技術を採用しています。同時に、ボイラーの動力として他の生産装置の廃熱を再利用するシステムを導入することで、クリーンルームのエネルギー消費効率を2015年度比で約30%改善させました。半導体の製造工程で使用したガスを無害化するガス除害装置の排水を再利用することで約75%

の排水を再利用しています。また、下水処理場で処理された水を受入れ再利用する施設を建設するなど、更なる水資源の保護にも取り組んでいます。

私たちの事業活動は、健全な地球環境と社会があって成り立つものだと考えています。この地球環境や社会に対して果たすべき責任を常に意識し、さまざまな活動を進めています。

生物多様性の保全（熊本・大分の事例）

熊本デックは、白川中流域のザル田と呼ばれる地質特性を活かし、2003年度から地下水涵養事業を開始。水田湛水によるものとしては日本企業初の取り組み。



Copyright 2024 ©Sony Semiconductor Manufacturing Corporation

7 新生シリコンアイランド九州への期待

2024年2月に半導体の製造受託サービスを提供するJapan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社(以下「JASM」)の第一工場が竣工し、第二工場の建設も発表されました。JASMの設立を機に熊本を中心に九州各県での半導体関連産業に対する投資が盛んになっています。このように半導体関連産業が九州に集積していくことにより各種インフラ整備が加速されることが期待されます。例えば、九州全体が高速道路などの高規格道路で結ばれることで、より強靱な半導体サプライチェーンが構築できると考えています。関連企業が集積すれば、企業間での情報共有や技術交流が活発化し、技術革新が促進されます。さらに、産業の注目度が増すことで、人材が九州外からも集まり地域の発展が期待されます。

当社においては、より生産性を高め、新たな製品開発における技術課題解決のためパートナー企業と一緒に取り組むCR2活動を長年行っています。これまで数多くの共同開発プロジェクトが進められ、またn対nのパートナー感のビジネスマッチングの場となっており多くのイノベーションが創出されています。人材育成については、大学との共同研究や講義に加え、高専への出前授業、高校生への工場見学の受入れなどにより、半導体に興味を持つ人材の育成を行っています。九州で事業

活動をする企業市民として地域や行政とともに九州、更には日本を盛り上げていきたいと思っています。

8 おわりに

SSSグループは、「Sense the Wonder」というコーポレートスローガンを掲げています。人間が何かに気づいたり、感じ取る行為を表す「Sense」と、私たちの研究開発の原点である好奇心を表す「Wonder」という思いを込めています。これは「好奇心を感じ、もっと驚きと感動に満ちた世界にしよう」という、私たちから社会に対する呼びかけの言葉でもあり、この思いに共感いただけるさまざまなステークホルダーとの出会いを生み出すことが、今までになかった新しい価値を創造し、人々の感動と社会の豊かさにつながると信じています。私たちは、イメージング&センシングテクノロジーのリーディングカンパニーとして、引き続き、社会にとって必須の存在であり続けるように、挑戦を続けます。





九州の産業を支える 物流拠点空港を目指して

北九州空港の物流拠点化の取組みのご紹介

北九州市 港湾空港局 空港企画課

1 はじめに

昨今の世界的なデジタル社会、グリーン社会に向けた動きの中、半導体を多用する産業構造への転換が進み、今や半導体は私たちの生活になくてはならない重要な基盤となっています。シリコンアイランドと呼ばれる九州では、半導体関連企業が数多く立地し地域経済をけん引してきました。社会の構造変化に伴って半導体産業の重要性はこれまで以上に高まり、九州各地で関連企業の大規模な設備投資が続いています。

北九州空港では、九州で唯一の貨物定期便が就航する空港として、物流拠点化を進めています。新生シリコンアイランドの実現に向けて、さまざまな産業が活発化していくことが想定される中、とりわけ、航空物流においては、北九州空港の貨物便の利便性向上が、より効率的でより経済的な輸送ネットワークを構築し、企業の国際競争力の向上につながるよう取り組んでいます。

本稿では、北九州空港の物流拠点化をテーマに、多様化する社会ニーズや課題に対応し、地域経済に貢献していくための取組みについて紹介します。

「陸」「海」「空」 物流のすべてが揃う北九州市

①地理的優位性

北九州市は、関門海峡を挟んで本州とつながる九州の玄関口に位置します。その地理的特性から、古来より交通の要衝としての役割を果たし、「陸」「海」の物流拠点として、製造業が盛んな「ものづくりのまち」である本市の発展を支えてきました。

海上輸送ではコンテナ船やフェリー、RORO船のターミナルを有し、鉄道輸送ではJR貨物のターミナル、道路ではトラック等の輸送網として本州、東九州、西九州の3方向に伸びる高速道路が各方面に通じています。



図1 北九州市の物流インフラ

②北九州市の物流インフラを活かした課題への対応

昨今のEコマース（電子商取引）市場の拡大で物流量が増加傾向となる一方、物流業界が直面する様々な問題により、輸送能力の低下でモノが運べなくなる可能性があると言われてしています。

このような状況に加えて、2024年4月から物流業界に生じる「物流の2024年問題」は、トラックドライバーの働き方改革により長距離の輸送が難しくなることが懸念されています。

その影響として、物流業界の売上の減少、トラックドライバーの収入の減少やドライバー不足が加速することで、荷主企業の物流コストの上昇やトラックの手配自体が困難になることも考えられると言われています。

そしてさらに脱炭素化の取組みとして「2030年問題」や「2050年問題」なども課せられており、物流を取り巻く環境変化は、物流業界や荷主企業にとって非常に大きな問題であり、物流施策を推進する行政にとっても対応すべき喫緊の課題となっています。

「陸」「海」「空」の充実した物流インフラを有する北九州市では、荷主企業のニーズに合わせた物流モードの選択により、課題の解決に貢献していきます。

本市の航空物流を支える北九州空港でも、東京とほぼ同じ距離の1,000キロ圏内にソウルや上海が入り、東アジアや東南アジ

アの主要都市に近い地理的優位性や、「陸」「海」の物流モードとの組み合わせで各地とつながる点は、非常に大きなポテンシャルです。

下図は、北九州空港と後背圏の主要都市とを結ぶ高速道路の交通ネットワークです。九州・西中国地方へは概ね5時間以内でアクセスでき、トラックドライバーの働き方改革に影響のない距離・時間であることが分かります。

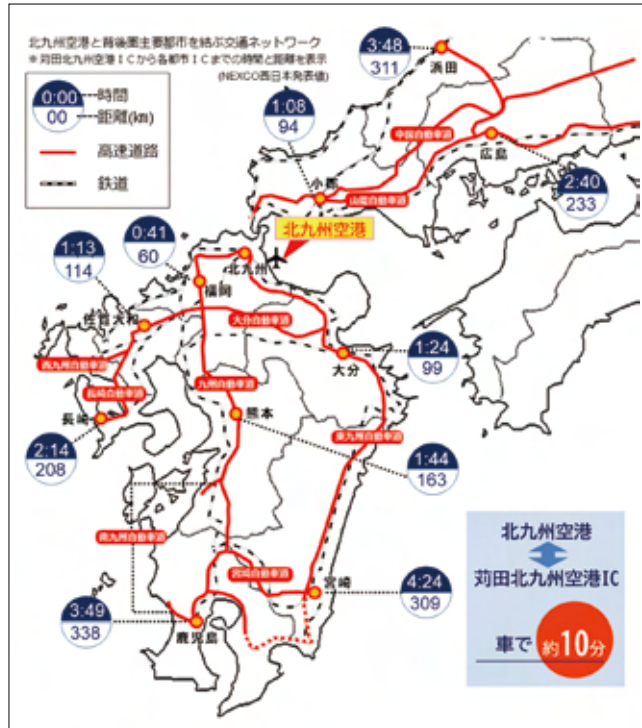


図2 北九州空港の交通ネットワーク

航空輸送において、北九州空港の国際貨物便を活用することで、「2024年問題」への対応に加えて、トータル物流コストの削減や輸送時間の短縮、CO2排出量の削減効果なども期待できます。



図3 北九州空港の活用による物流面でのメリット

航空物流の拠点 「北九州空港」のポテンシャル

①24時間空港の利点

北九州空港は、九州では唯一の24時間利用可能な空港として深夜早朝帯の離発着ができます。例えば、深夜に貨物を輸送することで、昼間稼働する工場の生産体制に合わせた輸送が実現し、効率的な輸送が荷主企業の生産性を高めます。

様々な荷主企業のニーズに合わせた運航計画が立てやすい空港であるということは、就航する航空会社にとっても利便性が高い空港と言えます。

②シーアンドエア輸送の実現

海上空港ならではの特長として、空港島内に設置された護岸を活用し、海上輸送と航空輸送を組み合わせたシーアンドエア輸送が可能です。このような複合輸送は、人工衛星や設備機械のような一般道の走行が難しい特殊大型貨物の輸送に適しています。

日本国内でシーアンドエア輸送ができる海上空港は限られるため、特に九州・西中国地方を発着する貨物については、北九州空港を利活用することで輸送効率を高めることができます。



図4 シーアンドエア輸送の事例

③貨物定期便(国際線・国内線)の就航

北九州空港では、2006年の開港以来、航空貨物の取組みを推進し、国際貨物便の誘致に力を入れてきました。

現在は、大韓航空による大型貨物専用機での運航と、UPSによるドアツードアの複合一貫輸送のサービスで、荷主企業の多様な国際輸送ニーズを受け止めています。

貨物便は、大型、大ロット、危険品など、旅客便では制約を受けられるような貨物の輸送が可能で、北九州空港ではあらゆる半導体関連貨物の輸出入実績も着実に積み重ねています。

また、2024年4月からはヤマトグループとJALグループによる国内貨物定期便が新規就航します。首都圏と地方とを結ぶ新たな国内輸送サービスが開始され、九州では北九州空港を拠点に成田空港・羽田空港と多頻度で繋がります。



図5 北九州空港に就航する貨物定期便(国際線・国内線)



図5 北九州空港に就航する貨物定期便(国際線・国内線)

九州における貨物定期便の重要性

先述のとおり、社会変化に伴う産業の高度化により半導体の重要性が急速に高まっています。今後、世界の半導体市場はさらに拡大し2030年には約100兆円規模に達すると見込まれています。

日本では、国内で半導体を生産する企業の合計売上高(半導体関連)を、2020年の5兆円から2030年にはその3倍以上の15兆円超とすることを目標に掲げ、実現に向けて今後10年程度で12兆円超の官民投資を行うとしています。

半導体関連、自動車関連を主要産業とする九州でも、企業の大規模設備投資が進み、今後大きな成長が見込まれる地域として、製品や部品・部材などの輸送拡大が想定されます。

九州の主要産業の発展に向けて、地域の生産者と国内外の消費者との時間や距離を縮め、より効率的な輸送を実現するためには、スペース供給力の高い貨物便のネットワークを拡充していく必要があります。

こうした地域のニーズに対応していくために、北九州空港では、貨物便の路線誘致や利用促進のソフト事業に加え、貨物機や航空貨物の受入体制強化、機能強化のハード事業の両面に総合的に取り組んでいます。

物流拠点化に向けた機能強化と今後の取組み・展開

①貨物需要に対応する上屋の拡大

北九州空港の貨物取扱量の増加に合わせ、蔵置・荷捌きを可能とする貨物上屋の整備を順次拡大し、今では合わせて3,000㎡を超える上屋が活用されています。軒下等を含む保税蔵置場の広さは約6,800㎡で、国際貨物の受入に備えています。

そして、さらなる貨物需要に対応するため、国はターミナル地域整備基本計画を変更し、貨物地区の拡張を実施しました。今後は、フォワーダーの物流拠点として貨物ビルなどの建設も検討されているところです。

②官民連携した空港機能の強化

北九州空港では、2024年4月のヤマトグループとJALグループによる国内貨物定期便の就航に向け、国によるエプロンの拡充整備や北九州エアターミナル株式会社による新たな国内貨物上屋の整備が進められています。また、円滑なシーアンドエア輸送を可能とするための直線道路の整備が国により進められており、北九州空港の利活用推進に、官民が連携して空港機能の強化に取り組んでいます。



図6 貨物地区のインフラ(赤字は2023年度整備箇所)

③滑走路延長による効果

北九州空港の貨物便については、これまで滑走路長の制限があり、近距離アジア路線の運航や、大型機の場合は輸入チャーター機の運航のみに限定されていました。

この状況を改善するため、本市は産業界と連携して2009年度

より国に対して、滑走路の3,000m化を要望してきました。そして、遂に、2023年度から国の新規事業として北九州空港滑走路延長事業が着工されました(2027年8月末供用開始予定)。

滑走路が延長されることにより、大型貨物機による北米・欧州への直行便が運航可能となります。

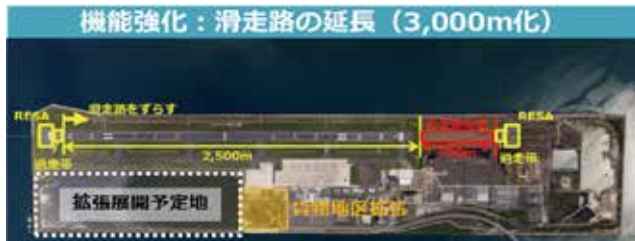


図7-1 滑走路の延長と拡張用地

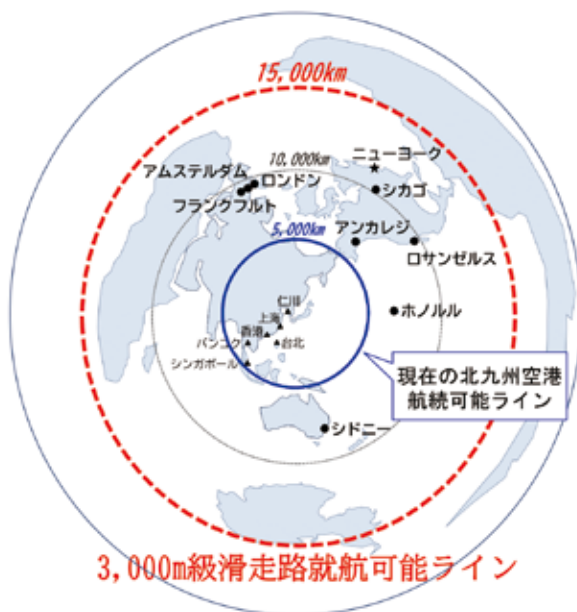


図7-2 滑走路3,000m化の効果(イメージ)

④脱炭素化の推進

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、空港についても、CO2排出量を削減する取組みが求められています。

そこで本市では、今年度、空港アクセスの脱炭素から取組みをスタートしました。北九州空港と北九州市内のJRの主要駅となる小倉駅とを結ぶエアポートバス小倉線の一部のバスの燃料を軽油から再生可能資源由来燃料である次世代バイオディーゼルに変更して運行するという実証運行を行っています。

この燃料のメリットは、いわゆるドロップイン燃料として既存の車両をそのまま活用することができる点です。脱炭素化対応のための導入コストを最小限に抑え、CO2排出量削減にも大きく貢献することができます。荷主企業の脱炭素化の取組みを後押しするため、今後は航空貨物の輸送用トラックへの普及の取組みも進めていきたいと考えています。

北九州空港では、脱炭素化を強力に推進しながら脱炭素社会の実現に取り組んでいきます。

地域貢献を目指す 「スカイコネクトKKJ」の取組み

北九州空港物流拠点化推進協議会(事務局:北九州市空港企画課)では、九州・西中国地方の荷主企業や物流事業者など地域の皆様とともに、北九州空港の航空物流の好循環を生み出していく新たな取組みを開始しました。昨年秋より同協議会の愛称を「スカイコネクトKKJ」とし、取組みに賛同いただけるサポート会員の募集を行っています。

引き続き、各種支援制度による利用促進に取組み、地域の皆様に北九州空港を発着する貨物便を積極的にご利用いただくための活動を推進してまいります。

7 終わりに

北九州空港を玄関口として世界とつながる貨物便ネットワークが充実することで、背後圏にある荷主企業の国際競争力が高まり、業績の向上に繋がります。そして、荷主企業の業績が上がると、その関連企業や物流関連企業の業績もよくなり、地域全体の経済が活性化し雇用拡大や新たな企業の立地も期待されます。

物流を取り巻く環境が大きく変化する中、半導体産業を中心とした大きな経済成長が見込まれる九州において、貨物便のネットワークが充実する貨物拠点空港は不可欠です。

スカイコネクトKKJの取組みとして、地域全体で利用を促進することで、便数・路線が増え価格競争力も高まります。

北九州空港のポテンシャルを活かしながら、荷主企業にとって使いやすく利便性の高い空港を目指して、皆様とともに物流拠点化の取組みを力強く進めてまいります。



図8 好循環の取組み

謝辞 北九州空港の利活用推進に関して、SIIQ様をはじめ多くの関係の皆様方のご協力をいただいております。この場をお借りして深く感謝を申し上げます。

九州半導体・デジタルイノベーション協議会(SIIQ)紹介

〈PROFILE〉

経済産業省が進める産業クラスター計画を推進する機関として、九州地域における半導体・デジタル関連産業の振興を目的とし、2002年5月に設立。

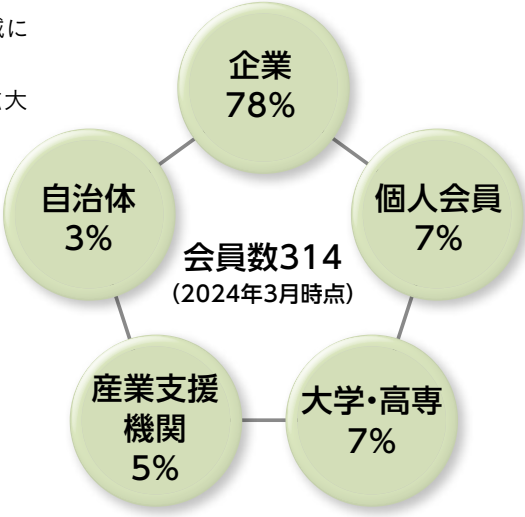
半導体産業を取り巻く環境の変化や期待の高まりに対して事業の維持・拡大と社会的信用力の向上を目的に2023年6月に一般社団法人として独立。

- 設 立：2002年5月
- 会員数：314
- 年会費：正会員（6～30万円） 賛助会員（6～12万円）
- 住 所：福岡市博多区

※SIIQは、シリコン(SI)、アイランド(I)、九州(Q)の頭文字をとった愛称



一般社団法人
九州半導体・デジタルイノベーション協議会
Kyushu Semiconductor & Digital Innovation Association
愛称：SIIQ [シーク]



企業 78%

個人会員 7%

大学・高専 7%

産業支援機関 5%

自治体 3%

会員数314 (2024年3月時点)

〈役 員〉 (敬省略)			
会 長	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社	代表取締役社長	山 口 宜 洋
筆頭副会長	三菱電機株式会社	パワーデバイス製作所長	岩 上 徹
副 会 長	株式会社ピーエムティー 株式会社アドバンテスト 株式会社ジャパンセミコンダクター 株式会社安川電機 九州大学	代表取締役・CEO 北九州R&Dセンタ長 取締役社長 代表取締役会長 システム情報科学研究院 教授	京 谷 忠 幸 佐 々 木 功 川 越 洋 規 小 笠 原 浩 金 谷 晴 一
理 事	旭化成エレクトロニクス株式会社 株式会社アムコー・テクノロジー・ジャパン エスティケイテクノロジー株式会社 株式会社オジックテクノロジーズ 鹿児島大学 公益財団法人 北九州産業学術推進機構 九州工業大学 九州大学 九州電力株式会社 熊本大学 櫻井精技株式会社 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 株式会社スズキ 日清紡マイクロデバイスAT株式会社 株式会社藤田ワークス ラピスセミコンダクタ株式会社 宮崎工場 株式会社ロジック・リサーチ	生産センター 第二製造部長 代表取締役社長 代表取締役社長 取締役会長 准教授 専務理事 マイクロ化総合技術センター長 経済学研究院 教授 情報通信本部 電子通信部長 副学長 代表取締役社長 九州センター 所長 代表取締役社長 代表取締役社長 代表取締役 取締役工場長 代表取締役社長	杵 淵 雄 一 川 島 知 浩 野 尻 裕 明 金 森 秀 一 中 武 貞 文 江 副 春 之 中 村 和 之 高 田 仁 松 枝 伸 幸 清 水 聖 幸 櫻 井 一 郎 植 村 聖 鈴 木 清 己 末 吉 裕 明 藤 田 幸 二 木 村 偉 作 夫 土 屋 忠 明
監 事	古賀マネージメント総研株式会社	代表取締役(公認会計士)	古 賀 光 雄

〈主な事業〉

オープンイノベーション・モノづくり深化事業

～産々連携で新ビジネス創出～

〈マッチング事業〉

大手半導体メーカーや自動車メーカー等と九州企業とのマッチング事業を実施。



〈海外展開支援〉

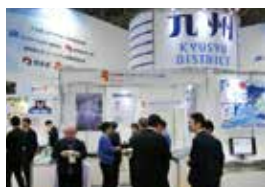
九州企業とマッチングの可能性が高い海外市場の調査、海外展開支援を実施。



TSMCとの連携

〈広報出展事業〉

九州企業の技術力、製品を国内外へ情報発信する目的で各種展示会へ出展。



SEMICON Japan



SEMICON 台湾

〈SIIQ会員交流会〉

SIIQ会員相互のネットワーク形成を目的とした交流会を実施。



会員企業見学



夕食交流会

コトづくり深化事業

～コトづくり視点で新事業創出～

〈異分野展開・コトづくり推進セミナー〉

コトづくりに向けた企業のマインドチェンジや異分野展開、サービス化等の先進事例紹介等を実施するセミナーを開催。



〈研究奨励事業〉

自社の強みを活かした新しいコトづくりを実現するビジネスプランを募集し、優れたプランに対して奨励金を交付。



人材育成関連事業

～産学連携で人材育成～

〈教員向け研修会〉

半導体企業の事業内容や技術説明、工場見学及び人事担当者、卒業生との座談会を実施。



〈学への出前講座〉

半導体を身近に感じてもらう、その重要性和魅力をSIIQが講師となり、出前講座で発信。



一般社団法人化、団体名の変更について

◇ 背景

- ・デジタル化の進展による半導体産業基盤の強化や、今後の世界市場の見通しなど半導体を取り巻く状況は追い風。
- ・SIIQは「九州半導体人材育成等コンソーシアム」の事務局を担うなど、各方面からの期待と注目が高まっている。
- ・一方、SIIQ会員は物流、金融機関なども参画するなどネットワークが拡大。

◇ 一般社団法人化の目的

- ・SIIQ活動の維持・拡大のため、今後の競争的資金獲得に柔軟に取り組める体制を構築する。
- ・国内外の新たな機関との連携構築を助け、且つ、SIIQ会員に対する社会的信用力の向上に取り組む。

◇ 団体名の変更について

- ・従来の任意団体「九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会」から『**一般社団法人九州半導体・デジタルイノベーション協議会**』に変更。
- ・従来のモノづくり主体の事業内容から「半導体をキーパーツとして形成されるデジタル社会における新たな価値創造のために事業範囲を拡大する」との趣旨から団体名を変更。
なお、愛称である SIIQ:シリコン(SI) アイランド(I) 九州(Q) は変更ありません。

1 SIIQ会員交流会

会員相互のネットワーク形成・連携を深めるため、「SIIQ会員交流会」を実施しました。

開催日 2023年4月21日
開催場所 三菱電機(株) パワーデバイス製作所
参加人数 124名



講演会



工場見学会



ゴルフ交流会

開催日 2023年5月19日
開催場所 吉川工業ファインテック(株)
参加人数 53名



講演会



講演会



ゴルフ交流会

開催日 2023年11月1日
開催場所 北九州空港
参加人数 45名



講演会



施設見学会



施設見学会

2 チャレンジマーケット

大手企業が持っているニーズに対して会員の皆様のシーズを提供することでビジネスマッチングを展開。



九州自動車関連技術展示商談会

3 海外販路開拓支援

海外販路開拓を目的に海外企業との商談会、海外半導体業界団体・研究機関との交流会を実施しました。

【台湾工業技術研究院(ITRI)とSIIQによるMOU締結】

◇MOU概要

SIIQとITRIはそれぞれの地域における半導体・電子・デジタル産業に関わる技術情報を相互に提供する。

双方は九州と台湾における半導体・電子・デジタル産業の振興を目的として様々な連携の方策を提案し、様々な情報を提供することに協力する。

開催日 2023年9月7日



MOU締結式

【台湾・九州半導体技術国際シンポジウム】

台湾の半導体関連機関と、今後の先端半導体の技術開発における情報交換会を実施。

開催日 2023年9月7日

開催場所 セミコン台湾 台北南港展覽館



【台湾企業との商談会】

九州の企業と台湾企業において相互のビジネスチャンス拡大を目的とし商談会をオンライン会議にて実施。



【ベルギー フランダース地方半導体クラスター DSP Valley及び IMECとの交流会】

スマート電子システムと埋め込み技術ソリューションの技術ネットワーク組織であるDSP Valleyや、世界最大級の半導体研究開発機関であるIMECとの交流をオンライン会議にて実施。



【インド半導体協会IESAとの交流会】

インドにおける電子システムを牽引する団体であるIESAとの情報交流をオンライン会議にて実施。



4 広報出展・情報発信事業

広報出展事業としては、新たなビジネス展開と販路拡大等を目的に各種展示会に会員企業や連携機関と協力し、共同出展を実施。情報発信としては会員向けメールマガジンの発信やホームページによる情報提供、SIIQ会報による活動状況の報告・共有を実施。

【広報出展】

九州の半導体・デジタル産業が持つ商品や技術を展示会に出展することにより販路拡大支援を実施。



【情報発信事業】

◇会報発行

SIIQ事業のトピックス報告と時宜に応じた特集、新会員紹介等を掲載する会報を発行。

◇ホームページによる情報発信

SIIQの概要、事業内容の紹介とともに、会員団体や事務局からのお知らせ機能を活用し、情報発信を実施。



Sector News

コトづくり関連事業

SIIQでは九州の半導体関連企業に対して、ニューノーマルに対応するための企業変革に向けた、ビジネスモデル構築のサポートを行うため、既存の企業体質を変えるためのマインドチェンジ促進や新たな収益モデル構築に向けてオンライン形式のワークショップなどを展開。

1 DX展開セミナー

企業変革力の強化を目的に、講演や参加者との対談を通じてビジネスモデル変革や、経営者のマインドチェンジ促進を促すコトづくりワークショップを展開。

開催日 2023年9月14日

開催形態 オンライン

参加人数 39名



2 知的財産活用セミナー

多くの特許をより効果的に活用するための「知財戦略」について学ぶ「知的財産活用セミナー」を開催。

開催日 2023年10月13日

開催形態 ハイブリッド開催

参加人数 141名



3 九州における半導体産業の活性化に向けたワークショップ

九州半導体産業の更なる発展に向け、九州管内の関連機関における「顔の見えるネットワーク構築」に向けた連携の深化・拡大、及び半導体産業の活性化に向けた新たなビジネスモデル構築の活動を支援。

【九州が一体となったBCP連携構築に向けたワークショップ】

有事の際のネットワーク構築としてBCP連携における課題の共有、現状把握、結果まとめの3ステップに分けて実施。

開催日 2023年11月9日
2023年12月8日
2023年12月20日

開催形態 ハイブリッド開催



【九州の半導体産業活性化に向けたバリューチェーン構築ワークショップ】

九州における半導体産業の強みと、ビジネスを維持発展させるための課題分析、及び新たなビジネスモデル構築も含めた、ロードマップ作成のためのワークショップを実施。

開催日 2024年1月17日
2024年1月23日

開催形態 ハイブリッド開催



4 研究奨励事業

大学や公設試等の優れた研究シーズならびにSIIQ会員企業との連携による新しい価値づくり(コトづくり)に対して、研究の奨励ならびに新しい価値づくりコンセプトの検証促進を促せるよう、研究等奨励寄附金による助成および表彰等を実施。

【SIIQ技術大賞】

大学や公設試等の優れた研究に対して、革新的な関連技術等を応用し、他分野への展開を図る技術を広く募集、SIIQ技術大賞として優れた研究開発テーマに対し助成・表彰を行う。



【SIIQビジネスプランコンテスト】

会員企業間の連携による研究開発や自社の強みを活かした新しい価値づくり(コトづくり)を実現するビジネスプランを広く募集し、優れたプランに対して、助成や表彰を行う。

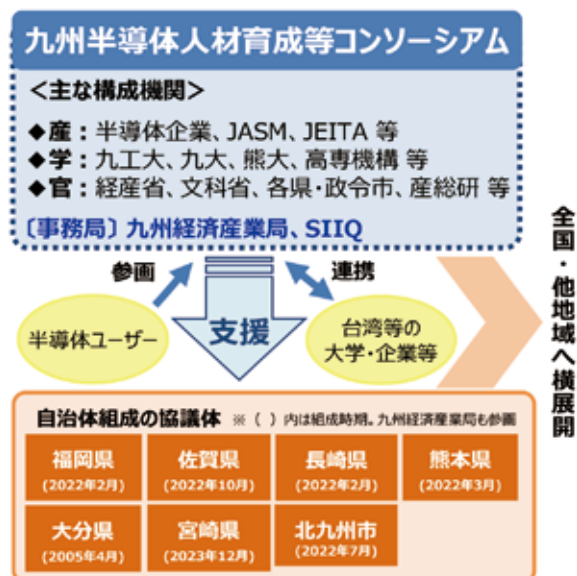


1 九州半導体人材育成等コンソーシアム

2022年3月に発足した九州半導体人材育成等コンソーシアムにおいてSIIQは九州経済産業局と共同で運営事務局を担っております。産学官の構成機関に加え、九州内自治体で組成された協議体とも連携し、活動を進めております。主な活動の柱は次の2つです。

- ①半導体の人材育成と確保
- ②九州における企業間取引やサプライチェーンの強靭化

九州がモデルとなる産学官の連携スキームを構築し、他地域への横展開に繋ぎ、オールジャパンでの展開に発展させていきます。



2 産学連携による半導体人材育成【SIIQによる出前授業】

【大分大学】

九州半導体産業の将来性や、今後の市場動向などを解説。半導体の実用例を紹介し、デジタル社会における重要性を講義しました。

開催日 2023年11月7日

参加人数 約200名

開催形式 出前授業



大分大学

【福岡大学】

半導体とは何か？具体的に使用されている素子、製品について解説を実施。半導体のすそ野が広いこと、幅広い技術の人材が必要とされることなどを講義しました。

開催日 2023年12月15日

参加人数 16名

開催形式 出前授業



福岡大学

【佐世保高専】

半導体を身近に知ってもらう「半導体工学概論」、及び半導体の製造技術の基礎を学んでもらう「半導体デバイス工学」を実施しました。また、講座の録画データを活用し、オンデマンドで他高専への展開も実施しています。

開催日 半導体工学概論:2023年5月～6月(6回実施)

半導体デバイス工学:2023年10月～12月(5回実施)

参加人数 約85名

開催形式 出前授業、及びSIIQ会員企業での工場見学会



佐世保高専

【熊本工業高校】

半導体の基本的な機能、動作原理などを解説し、社会における実用例を講義することで、半導体産業の魅力を発信しました。

- 開催日 2023年10月18日、2024年1月30日
- 参加人数 約200名
- 開催形式 出前授業、及びSIIQ会員企業での工場見学会



熊本工業高校

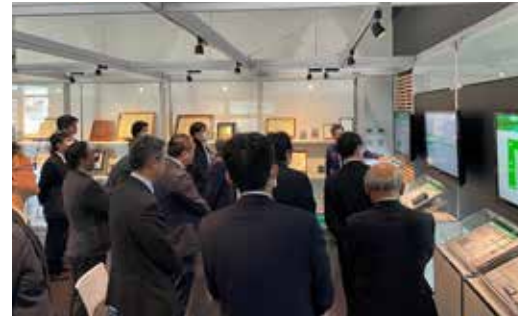
3 産学連携による半導体人材育成【教員向け研修会】

SIIQ会員である半導体関連企業を、教員の皆様方に訪問していただき、半導体についての理解度を深め、生徒・学生の進路選択時に半導体産業を先生方から提案頂ける様、半導体産業の魅力発信を行いました。

また、企業側との座談会により、学における教育と半導体業務の関連性等についても理解を深めていただきました。

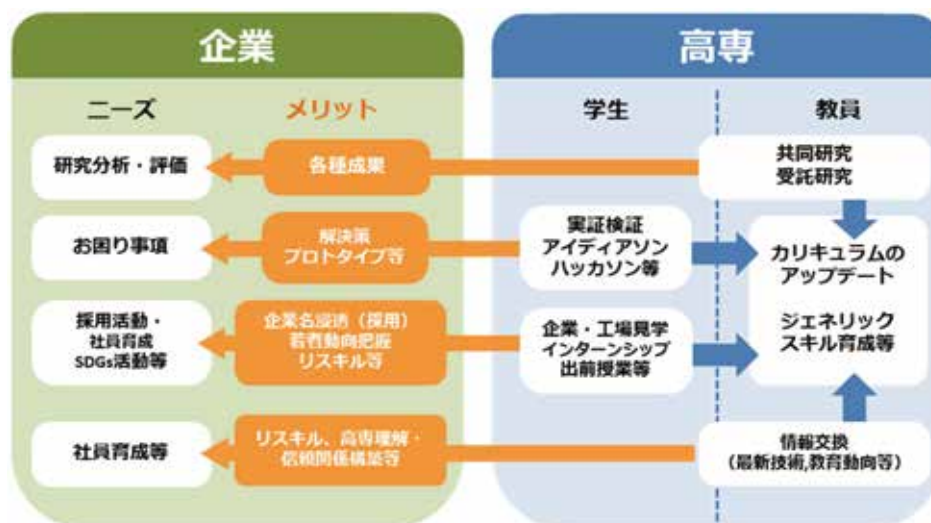
- 開催日 2023年12月8日～2024年1月24日(5回実施)
- 開催場所
 - ① 三菱電機(株) パワーデバイス製作所
 - ② ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
 - ③ (株)SUMCO
 - ④ 日清紡マイクロデバイスAT(株)
 - ⑤ (株)アスカインデックス

参加人数 67名



4 全国高専における半導体教育カリキュラムの構築

半導体人材の育成を目的に、産学連携による全国高専における今後の教育カリキュラムの構築を進めています。先端技術開発における研究開発に対応できる「トップ人材」、及び製造や品質管理など企業の生産基盤を支える「ボリュームゾーン人材」など、求められる人材像に応じたプログラムを構築、実践していきます。



2023年度新会員ご紹介


近畿大学
KINDAI UNIVERSITY

学校法人 近畿大学 産業理工学部

所在地	(福岡キャンパス) 福岡県飯塚市柏の森11-6
概要	・近畿大学の福岡キャンパスとして福岡の地に設置されて以来、時代と社会の要請に応じて変革を続けている ・経営ビジネス学科、生物環境化学科、電気電子工学科、建築・デザイン学科、情報学科があり、全国屈指の就職実績をもつ
P R	電気電子工学科では、社会的要請と教育の充実という目的に即し、半導体に関する高度な知識を持った人材を育成する教育機関として、2024年度より「半導体エレクトロニクスコース」(令和6年4月コース名称変更予定)を開校いたします。



独立行政法人国立高等専門学校機構
有明工業高等専門学校

所在地	福岡県大牟田市東萩尾町150
概要	・理工系の高等教育機関であり、本科生約1,000名及び専攻科生約60名が在籍 ・深い専門知識と高い技術力を備えた実践的技術者を育成
P R	本校は、産学連携による技術相談や協同研究など地域活性化に貢献しています。また、半導体の設計に関する授業を実施し、優れた人材の輩出を目指して学生の育成を行っています。



独立行政法人国立高等専門学校機構
熊本高等専門学校

所在地	(八代キャンパス) 熊本県八代市平山新町2627 (熊本キャンパス) 熊本県合志市須屋2659-2
概要	・6学科・2専攻を有し、ICT技術を共通基盤とし、電子情報系と融合・複合工学系分野を特徴とする高等教育機関 ・国際的に通用する実践的・創造的技術者の育成と科学技術による地域社会への貢献を使命としている
P R	国立高専機構の半導体人材育成事業において拠点校を務め、産学官連携による半導体人材育成に取り組むとともに、学生のキャリア教育支援や研究推進を目的とした「半導体材料・デバイスフォーラム」を14年連続開催しています。



アイグラフィックス株式会社 福岡営業所

所在地	福岡県福岡市博多区博多駅南2丁目18-8 アルプスビル3F
事業概要	・各種紫外線硬化装置(UV・UV-LED) ・オゾン洗浄・改質装置(UV)ランプ及び関連装置の製造販売
P R	光の総合メーカーである岩崎電気の一員としてあらゆる産業界のニーズに対し、開発から製造、販売、アフターサービスまで「一貫体制」を確立しております。プロセス開発、新製品開発の一役を担うEYE-UV Laboを開校しており、最先端の光テクノロジーで社会に貢献します。また、2024年4月1日より親会社である岩崎電機㈱と合併し、岩崎電機㈱の販売部門として新たな出発をいたします。



計測エンジニアリングシステム株式会社

所在地	福岡県福岡市博多区千代4丁目29-49 グローリー県庁前702号
事業概要	・電子計測、制御装置、検査装置の開発、製造、販売 ・各種標準バス対応CPU、I/Oボードの製造、販売 ・シミュレーション、モデリングソフトの販売および研究開発委託の請負等
P R	当社は製品設計開発プロセスにおける計測・制御・シミュレーション分野において顧客ニーズに最適かつ最新のテクノロジーを用いたシステムソリューションを広く国内外を問わず提供する「総合エンジニアリング企業」を目指しています。



大成建設株式会社 九州支店

所在地	福岡県福岡市博多区住吉4丁目1-27号
事業概要	・国内外における建築・土木の設計・施工、環境、エンジニアリング、原子力、都市開発、不動産などの分野で事業を展開
P R	2023年に創業150周年を迎えた当社は、「人がいきいきとする環境を創造する」という「グループ理念」及びその理念を追求するための「自由闊達」「価値創造」「伝統進化」という「大成スピリット」のもと、企業価値と社会価値の向上の循環を実現し、持続的に成長することを目指しています。



学校法人 福岡工業大学

所在地	福岡県福岡市東区和白東3丁目30-1
概要	・「For all the student ～すべての学生生徒のために～」をスローガンに、強い人間力で知識・技能を融合し時代の変化に対応できるグローバルな「実践型人材」を育成
P R	産学連携活動においては、企業・自治体からの技術相談対応や共同・受託研究を通じた社会課題の解決に加え、分野横断型研究プロジェクトの組成、知的財産の活用による社会実装の実現等を推進しています。



独立行政法人国立高等専門学校機構
佐世保工業高等専門学校

所在地	長崎県佐世保市沖新町1-1
概要	・1962年に国立高等専門学校の第1期校として九州地区で初めて設立 ・機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、物質工学科の本科4科および専攻科1専攻から成り、約900名の学生が在籍
P R	高専全体における半導体人材育成の拠点校として熊本高専と共に実践的な教育に取り組んでおり、2025年度から情報系教育を強化した学校改編を実施します。



独立行政法人国立高等専門学校機構
大分工業高等専門学校

所在地	大分県大分市大字牧1666
概要	・1963年に5年間の一貫教育を通して大分県や日本の工業の発展を支える実践的な技術者の養成を目的として設立 ・現在、機械工学科、電気電子工学科、情報工学科、都市・環境工学科の修業年5年間の専門4学科(本科)を設置
P R	地域社会貢献活動を目的とし、これまでの産学連携活動を強化し新たに地域共創を展開するために、地域共創テクノセンターを設置、共同研究及び受託研究の受け入れ及び技術相談や技術講習会・講演会及び小学生から社会人までを対象とした公開講座等を実施しています。



Qsol株式会社

所在地	福岡県福岡市中央区渡辺通2丁目1-82 電気ビル北館
事業概要	・コンピュータソフトウェアの開発、販売、リース及び賃貸 ・コンピュータシステムの導入、保守、運用及び管理 ・コンピュータ及び周辺機器の販売、リース及び賃貸
P R	多岐にわたる経験から身につけた「課題解決力」を強みとし、開発から保守まで一貫したソリューションを提案します。それらを背景に生産管理システム「GROTRY」で製造業のみならずをサポートします。



正晃株式会社

所在地	福岡県福岡市東区松島3丁目34-33
事業概要	・産業・学術研究分野の試薬・消耗品、分析・計測&設備機器の販売 ・エレクトロニクスに特化した商材の他、医療機器認証品の販売 ・試薬、消耗器材の商品検索発注システムの提供等
P R	当社はインダストリー・アカデミア市場、官公庁研究機関を軸にビジネス展開している商社です。九州・山口エリア13拠点より納品・メンテナンス、最新情報のご紹介、ソリューション提案を行っております。



大同DMソリューション株式会社 九州北営業所

所在地	福岡県久留米市荒木町白口11-1
事業概要	・工具鋼、ステンレス鋼、構造用鋼、その他特殊鋼材の加工および販売 ・鋼材および非鉄金属並びにその加工品の熱処理、表面処理、機械加工および販売 ・治具および工具、各種機械部品の製造および販売
P R	大同特殊鋼グループの一員として、工具鋼をはじめ高合金、ステンレス鋼、アルミ合金、構造用鋼など多種多様な素材と、その加工製品、熱処理、表面処理等をご提案、ご提供いたします。

大日本印刷株式会社



所在地	福岡県福岡市南区清水2丁目18-28 福岡営業ビル
事業概要	・クリーン包装材料、化学品向け包装材、電子部品設計・製造 (製品:リチウムイオン電池用バッテリーパウチ、有機ELディスプレイ製造用メタルマスク、ディスプレイ用光学フィルム等)
P R	当社は「人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する」ことを企業理念に掲げています。持続可能なより良い社会とより心豊かな暮らしを実現するために、「P&I(印刷と情報)」の強みを活かして自らがより良い未来をつくり出すための事業活動を展開しています。

株式会社東京ダイヤモンド工具製作所 福岡営業所



所在地	福岡県福岡市南区大楠1丁目30-21 福徳ビル2F
事業概要	・ダイヤモンド工具全般の製造、販売、修理、機械器具の販売 ・CBN工具全般の製造、販売、修理、機械器具の販売
P R	1932年の創業以来、ダイヤモンドの比類のない硬さを工業用途に最大限活かすために、お客様とともに歩んでまいりました。切る・削る・磨く・穴をあけるツールを通して、今後も皆様の期待を超えるソリューションを提供してまいります。

八洲貿易株式会社 九州支店



所在地	福岡県北九州市八幡西区黒崎3丁目9-18
事業概要	・機器販売、アフターサポート、校正業務、輸出入業務 (主要製品:プロセス分析計、流体制御機器、校正・計測機器、シートシャッター等設備関連製品)
P R	日本のものづくりを2023年5月に創立80周年を迎えました。100年企業に向け、これまで培ってきた技術力とネットワークを活用し、これからお客様と共に課題に向き合う技術商社でありたいと考えています。

一般財団法人

材料科学技術振興財団 熊本営業所



所在地	熊本県菊池郡大津町室161-1 ステーションM 102
事業概要	・材料評価事業:公益サービス(受託分析) ・研究事業:新素材に関わる基礎研究及び解析評価技術の開発 ・振興事業:山崎貞一賞、国際会議・シンポジウムなどの支援等
P R	公正中立な第三者機関として、40年蓄積した分析技術と最新のAI技術を融合し、お客様の研究開発・品質管理の問題解決に貢献します。分析でお困りのことがあれば、ぜひお気軽にお問い合わせください。

旭化成マイクロテクノロジー株式会社



所在地	宮崎県宮崎市橋通東5丁目3-10
事業概要	・オーディオ用A/Dコンバータ、スマホ用カメラオートフォーカス制御、産業用ロボットや最先端自動車向けコアレス電流センサなど、世界ナンバー1クラスの性能を誇るLSI製品の設計開発
P R	「宮崎から世界へ」半導体集積回路(LSI)の設計開発を専門とする会社です。私たちはフロンティア精神をベースに、ワールドクラスのミックスデザインLSIデザイナーを目指しています。

三井化学EMS株式会社



所在地	宮崎県延岡市中川原町5丁目4960
事業概要	・電子部品の製造および開発 (主要製品:FPD用ベリクル、半導体用ベリクル等)
P R	当社は三井化学グループとの技術融合を通じ、半導体やフラットパネルディスプレイ製造時の露光工程において使用されるフォトマスク用防塵カバーのベリクルを製造しています。数多くのラインナップがあり、FPD向けは業界シェアNo.1を維持しています。

株式会社テクノア 九州支社



所在地	福岡県福岡市博多区冷泉町4-17 博多祇園NKビル2階
事業概要	・業務用パッケージソフト開発、販売 ・生産・管理ソリューション:業務効率化、生産性向上、経営力強化 ・AI&IoTソリューション:製造現場の見える化
P R	中小製造業向けを中心に、生産管理システムTECHSシリーズにおいて導入実績No.1を誇ります。「守りのDX」とも言える安定的なDXの推進を提供し、同時にAIを駆使した「攻めのDX」を通して、お客様のDX実現をサポートしています。

トーカロ株式会社 北九州工場



所在地	福岡県京都郡刈田町鳥越町1-48
事業概要	・様々な製品・生産設備へ目的に合わせて最適化した材料をコーティングし、新しい性質や機能を与える表面改質技術を提供 (保有技術:溶射、CDC-ZAC、TD-VC、PTA、PVD、その他)
P R	半導体業界では最先端の製造装置や製造現場で生産性向上や生産コスト削減など問題解決目的でもトーカロ表面改質技術は活用されています。あらゆる業界・分野に渡るお客様のニーズに高い技術力で応えています。

株式会社インターテックエンジニアリング



所在地	熊本県菊池郡菊陽町原水4000-6
事業概要	・半導体製造装置の移設、立ち上げ、メンテナンス及び部品販売、装置再生、リニューアルの技術サービスの提供
P R	当社は、半導体製造装置のリユース及びリニューアルとその関連商材を主たるビジネスとする企業として、企業理念である「もったいないの心」で環境経営に取り組んでいきます。

平田機工株式会社



所在地	熊本県熊本市北区植木町一木111
事業概要	・各種生産システム、産業用ロボットおよび物流関連機器等の製造ならびに販売
P R	当社は自動車や半導体、その他自動車部品を中心に多様な産業分野のニーズに応える生産システムインテグレーターとして、エンジニアリング(開発・提案・設計)、ものづくり(部品製造、組立・検証、生産立ち上げ)、サポート(保守・サービス)までのすべてのプロセスを一貫して対応しています。また、グループ会社として国内10拠点、海外10拠点を展開し、グローバルに対応しています。

えびの電子工業株式会社



所在地	宮崎県えびの市大字上江670
事業概要	・電子部品・自動車部品の製造 ・省力化機器・ソフトウェアの開発販売
P R	当社は、主に大手製造業メーカーの協力企業として、宮崎県5工場・鹿児島県1工場を拠点とし、社員が659名在籍しています。生産委託、中小企業向けクリーンウェア(無塵服)クリーニング及び販売紹介も可能です。また、双眼検査等の生産人員が多数在籍しており、ホワイト企業認定などの受賞歴を多数頂いております。

SGSジャパン株式会社



所在地	神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークノーススクエアI
事業概要	・「世界最大級の試験、検査、認証機関」として、半導体分野では信頼性試験、故障解析、EMC試験、製造工場向けサービス、化学物質管理をサポート可能
P R	当社は半導体における機能安全、サイバーセキュリティに準拠した開発サポートは国内シェアNo.1です。グローバルネットワークを活かし、世界トップクラスの経験・実績・品質に基づいたサービスを提供します。

2023年度新会員ご紹介

株式会社エムトピア



所在地	大阪府東大阪市荒西3丁目2-33
事業概要	・プロダクトデザイン・筐体設計・3Dプリント・デザインモデル・ワーキングモデル・部品加工・各種表面処理
P R	製品開発の初期段階から量産前の試作金型形成まで、開発フェーズに併せたサービスや製品を提供いたします。「ヨリ速く、ヨリ正確に、ヨリ美しく」を社是に掲げ、表現力のある製作を通して、試作ワンストップソリューションで課題を一気に解決します。

JSR株式会社



所在地	東京都港区東新橋1丁目9-2
事業概要	・デジタルソリューション事業 ・ライフサイエンス事業 ・合成樹脂事業
P R	当社は化学を軸としたテクノロジーカンパニーです。グローバルにトップレベルのシェアを持つ半導体材料やディスプレイ材料、エッジコンピューティング関連材料などを提供しています。強みである高分子技術をベースに新たな事業を生み出し、顧客や社会の課題を解決し、社会をより豊かにしていくことを目指しています。

株式会社地圏環境テクノロジー



所在地	東京都千代田区神田淡路町2-1 NCO神田淡路町3F
事業概要	・地圏(陸域を中心とした生活圏)の水問題を中心に、情報・ノウハウ・解析技術を組み合わせて、幅広い分野で信頼性の高い科学的ソリューション&コンサルティング、解析ツールのライセンス販売、コンテンツ販売、講習会を展開
P R	大局的流動場や局地の汚染状況まで時間を追って描き出し、様々な水問題の予測・対策のために活用できるこれまでに例のない高い精度の情報を提供します。半導体製造に必要な水資源の定量化やTNFD等で寄与したいと考えています。

ナグモ産業株式会社



所在地	千葉県市川市原木2丁目11-15
事業概要	・精密機器の輸送、搬入、据付 ・産業廃棄物の収集、運搬 ・成田空港航空貨物の搬出手続、積込、輸送 ・メンテナンス部品の管理・保管
P R	2020年12月8日に、はやぶさ2のカプセル輸送をさせていただきました！半導体製造装置・医療機器・印刷機器などの精密機器の輸送・搬入・据付はお任せください。成田空港搬出手続きからの一貫輸送出来ます。

株式会社ニチワ工業



所在地	長野県茅野市本町東3-17
事業概要	・半導体ウェハの裏面研磨、研削からレーザーマーキング、ダイシング加工、トレイ詰め、外観検査まで一貫して対応
P R	当社は試作品・小ロットから量産まで幅広く、迅速にお客様のニーズに応えられるよう企業基盤を確立しております。これからも「企業の発展は、そこに働く人々の総合力にある」を理念に、全社員の熱意と科学的思考力を原動力に、さらなる事業発展と、業界や地域社会への貢献を目指していきます。

ヒロホー株式会社



所在地	広島県廿日市市城内3丁目17-1
事業概要	・ダンボール・プラスチック・鋼材・布材等の素材を用いて、お客様の製品や用途に合わせた環境対応型の物流容器をオーダーメイドで製造
P R	当社は営業拠点11箇所、製造工場12箇所を展開しており、設計・製造・販売・納品まで一貫して自社で対応しています。様々な材料を加工しており複合での提案も可能、廃棄物・CO2削減に貢献する荷姿をご提供いたします。

興研株式会社 九州営業所

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に



所在地	福岡県久留米市諏訪野町1903-20
事業概要	・オープンクリーンシステム[KOACH]の製造販売 ・プッシュプル型換気装置[コーケンラミネーター]の製造販売 ・防塵、防毒マスク、空気呼吸器などの安全衛生保護具の製造販売
P R	ISOクラス1・低消費電力・短工期かつ移設増設可能なクリーンルーム「フロアーコーチ」は、熊本大学をはじめ、全国各地で実績多数。熊本県庁前のKOACHショールームにお気軽にお越しください。

大和化学工業株式会社



所在地	奈良県北葛城郡広陵町南郷986-1
事業概要	・工業用プラスチック製品の企画、設計、製造、販売
P R	当社は、1959年に創業し1962年に会社設立いたしました。工業用プラスチック製品の製造で射出成形、中空成形、真空成形を社内で一貫製造しているのは業界でも稀な存在です。品質管理と短納期対応(最短当日納入可能)、新事業でフッ素樹脂のブロー成形品を手掛けています。

株式会社DNPエル・エス・アイ・デザイン



所在地	東京都新宿区市谷加賀町1丁目1-1
事業概要	・LSIの設計・試作・ターンキー(TK)サービス ・設計:各種ファウンドリにおけるSoC/ASICの豊富な設計実績 ・試作:TSMC Cyber Shuttle / Full Mask(Combo)試作対応可能 ・TK:仕様検討から設計・試作・量産に至るLSI開発をトータルサポート
P R	LSI開発のエキスパート集団として、お客様に多様なニーズに応えられるような必要な技術の提案・提供します。

鍋林株式会社



所在地	長野県松本市中央3丁目2-27
事業概要	・半導体薬品・電子材料・合成樹脂・各種設備機器等の販売、及び取扱品目の輸出入
P R	当社は、上記に加えて医療用医薬品、医療・介護機器、医薬原料、食品原材料、食品添加物、食品包装資材なども扱っており、九州では高純度薬品、めっき薬品、スラリー、洗浄剤など工業用薬品類を幅広く取り扱っています。熊本、長崎、鹿児島に温調庫、冷蔵庫、危険物倉庫を備え、温調トラックにて配送対応いたします。

株式会社ビレッジアレイ



所在地	東京都渋谷区桜丘町26-1 セルリアンタワー15階
事業概要	・FPGAを使ったシステム設計 (例)画像、数値計算システムの設計 ・ビジョンソリューション (例)産業用カメラを使用したシステムの構築 ・若手・中堅エンジニアの人材育成
P R	大手半導体デバイスメーカーでMVPを受賞する手腕を活かした開発から量産の技術アドバイス外資系企業やスタートアップのCTOやCEOを務めた知見からのアドバイス、ものづくり企業の豊富なネットワークにより、経営的かつグローバルな視点でのものづくり企業の技術力をサポートする技術コンサルタント会社です。

フォームファクター株式会社



所在地	神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパーク イーストタワー11F
事業概要	・プログラム開発やPC応用システムのハードウェア/ソフトウェア開発、および特殊ハードウェア/システムの設計・開発などの計測・制御に関するエンジニアリングサービスの提供
P R	当社は製品設計開発プロセスにおける計測・制御・シミュレーション分野において顧客ニーズに最適かつ最新のテクノロジーを用いたシステムソリューションを広く国内外を問わず提供する「総合エンジニアリング企業」を目指しています。

九州西濃運輸株式会社



九州西濃運輸株式会社

所在地	福岡県福岡市博多区井相田1丁目1-56
事業概要	・貨物自動車運送事業
P R	セイノの業界トップクラスの物流インフラと経営資源を活用し、「物流の総合窓口」となって、業界・企業の垣根を超えたオープン・パブリック・プラットフォーム(O.P.P)を展開しています。セイノグループ輸送ネットワークと倉庫による物流インフラから最適なサービスを提供し地域・社会への貢献を目指します。

郵船ロジスティクス株式会社 熊本営業所



所在地	熊本県熊本市中央区桜町1丁目20-408
事業概要	・海上/航空貨物輸送、在庫管理、流通加工などを一括で請け負うコンラクト・ロジスティクス並びにシームレスなサプライチェーン・ソリューションの提供
P R	当社は世界47の国と地域に681カ所で事業展開しており、グローバルマーケットにおいてお客様のビジネスとシームレスに繋がりを、高度化・多様化するご要望にお応えするロジスティクスパートナーとして、共に歩み続けてまいります。

株式会社十八親和銀行



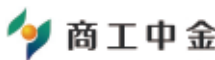
所在地	長崎県長崎市銅座町1-11
事業概要	・普通銀行業務 (預金、貸出、内国・外国為替、証券、その他付随業務)
P R	当行はふくおかフィナンシャルグループの一員で長崎県を地盤とする金融機関です。半導体分野への取り組み強化を目的に半導体ビジネス推進プロジェクトを発足し、銀行業務に加え各種マッチング(販売先や仕入先、業務委託先紹介など)及び人材、不動産ニーズに関するお手伝いなど全般をサポートしております。

株式会社肥後銀行



所在地	熊本県熊本市中央区練兵町1
事業概要	・普通銀行業務 (預金、貸出、商品有価証券売買、有価証券投資業務等)
P R	熊本に本社を構え、半導体関連企業への支援を実施するプロジェクトチームを設立。国内外企業の進出支援(不動産の支援含む)やサプライチェーンへの参入支援等のソリューションを提供しています。

株式会社商工組合中央金庫



所在地	東京都中央区八重洲2丁目10-17
事業概要	・普通銀行業務 (預金、貸出、内国・外国為替、その他付随業務)
P R	2022年3月に新たな企業理念(パーパス・ミッション)を制定し、「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、お客さまにマッチしたオーダーメイド型のソリューションを提供しています。

リクルーティングパートナーズ株式会社



所在地	福岡県福岡市中央区天神2丁目3-25 天神ZEROビル5F
事業概要	・新卒、キャリア、グローバル採用等の人材採用広告事業 ・採用プロセス最適化事業 ・人材紹介事業 ・大学、専門学校支援事業 ・クリエイティブ事業 等
P R	株式会社リクルートのエリアトップパートナーとして、強固な連携のもと九州全域で企業の採用支援、求職者の就職支援を総合的にを行っています。採用支援企業数は2,700社を超え、豊富な採用支援実績を有しています。

株式会社OSナノテクノロジー



所在地	東京都千代田区丸の内1丁目8-3-2F
事業概要	・半導体業界に特化した国内技術系、製造系人材のアウトソーシング事業
P R	お客様のニーズに合わせ上流から下流工程までの一貫した人材サービス事業を展開します。半導体技術研修センターの活用を含むリスクリリング及びジョブ型雇用で専門性が高い人材リソースを提供いたします。

国際ビジネスコンサルティング事業協同組合



所在地	兵庫県淡路市浅野南86-1
事業概要	・高度人材(労働者派遣、有料職業紹介)、特定技能、技能実習、半導体産業外国人材のご紹介
P R	当組合はIT学部、機械系学部、電気系学部のマンマーマー現地TOP大学卒業生たちと強い信頼とネットワークを築いており、グループ企業のインドからのIT派遣人材も強みです。半導体設計者、IT技術者、AI技術者、高度人材、半導体産業製造業へマンマーマー技能実習生、フィリピン特定技能外国人材をご提案いたします。

東洋ワーク株式会社



所在地	宮城県仙台市青葉区国分町1丁目7-8 東洋ワークビル5F
事業概要	・アウトソーシング(請負)事業 ・労働者派遣事業 ・有料職業紹介事業 等
P R	人材採用におけるあらゆるニーズに応えるため、請負、派遣、職業紹介、再就職支援、グローバルサービスなど様々なサービスをご用意しています。総合人材サービス会社として企業の採用ご担当者様の高いご要望にお答えできるよう、付加価値の高い人材をご紹介することを目指しています。

株式会社ビーネックステクノロジーズ



所在地	東京都港区東新橋2丁目14-1 NBFコモディオ
事業概要	・労働者派遣事業/有料職業紹介事業
P R	当社は技術者派遣に特化した会社で、全国(九州～東北)1,000社以上お取引実績があり、技術者が約6,300名在籍しています。技術未経験者へリスキリング機会を提供し国内の技術者不足解消に貢献いたします。半導体研修センター(東京お台場)、機電エンジニア研修センター(大阪、東京)を保有しており、研修センターの見学が出来ます。

株式会社イノベント



所在地	東京都港区南青山3丁目1-31 KD南青山ビル2F
事業概要	・主催会社として、東京・大阪・福岡・名古屋・沖縄など、全国各地で主にB to B展示会を主催・開催
P R	食をはじめ、DXや住宅・不動産、万博向け展示会など様々な分野で多くの商談を生み出せてまいりました。2024年9月25日(水)・26日(木)の2日間、マリンメッセ福岡にて、九州初となる半導体産業に特化した専門展示会「第1回[九州]半導体産業展」を開催いたします。ぜひご出展・ご来場ください!

三井不動産株式会社



所在地	東京都中央区日本橋室町2丁目1-1
事業概要	・総合不動産デベロッパーとして、オフィスビル、大型商業施設、住宅を中心にホテルやロジスティクス、ベンチャー共創、産官学連携など幅広い事業を展開
P R	当社は阿蘇くまもと空港運営の一翼を担っており、空港周辺を中心とした街づくりを通じて産業競争力の向上や新産業の創造に貢献し社会がより豊かに発展するための場を提供してまいります。

一般社団法人九州半導体・デジタルイノベーション協議会 会員一覧

福岡県

株式会社ISSリアライズ 福岡支店
 アイグラフィックス株式会社福岡営業所
 株式会社アサカ理研
 アスカコーポレーション株式会社
 アドバンスマテリアルズテクノロジー株式会社
 株式会社アドバンテスト
 アマノ株式会社 福岡支店
 有明技研株式会社
 有明工業高等専門学校
 株式会社アルプス技研 福岡営業所
 株式会社アルプス物流 福岡営業所
 飯塚市
 インターテック ジャパン株式会社 福岡大牟田試験所
 ATENジャパン株式会社
 エスベックアシスト株式会社
 NX商事株式会社 九州LSセンター
 株式会社エヌエフティ
 エレマテック株式会社 福岡支店
 株式会社エンプラス半導体機器 九州営業所
 オルガノ株式会社 九州支店
 株式会社カシワ
 株式会社カナデン 九州支店
 株式会社関電工 西日本営業本部 九州支店
 公益財団法人 北九州産業学術推進機構
 北九州市
 北村化学産業株式会社 福岡営業所
 QEL株式会社
 九州工業大学
 九州産業大学
 九州西濃運輸株式会社
 公益財団法人 九州先端科学技術研究所
 九州大学
 九州日東精工株式会社
 九州三菱電機販売株式会社
 九州リオン株式会社
 Qsol株式会社
 近畿大学 産業理工学部
 株式会社近鉄ロジスティクス・システムズ 福岡営業所
 久留米工業高等専門学校
 株式会社クレオ
 計測エンジニアリングシステム株式会社
 興研株式会社 九州営業所
 株式会社コベルコ科研 九州オフィス
 シーシーエス株式会社 博多テストグループ
 株式会社ジーダット 福岡事業所
 シービーアールイー株式会社 福岡支店
 株式会社JCU 九州営業所
 Japan Quality株式会社
 株式会社商工組合中央金庫 福岡支店
 株式会社昭和電気研究所
 株式会社新菱
 株式会社スギノマシン
 株式会社住化分析センター 福岡営業所

正晃株式会社
 ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社 福岡事業所
 株式会社ソフトサービス
 第一実業株式会社 福岡支店
 株式会社大気社 九州支店
 大光炉材株式会社
 大成建設株式会社 九州支店
 株式会社ダイソー ニチモリ事業部 九州営業所
 大同DMソリューション株式会社 九州北営業所
 大日本印刷株式会社
 大陽日酸株式会社 九州支店
 株式会社タケシタ
 株式会社たけびし 九州支店
 株式会社ダン・タクマ 九州支店
 株式会社テクノア 九州支店
 東亜電気工業株式会社 福岡営業所
 株式会社東京ダイヤモンド工具製作所
 東芝情報システム株式会社 九州支店
 トーカロ株式会社 北九州工場
 株式会社豊通マシナリー 九州支店
 西日本工業大学
 株式会社西日本シティ銀行 法人ソリューション部
 日総工業株式会社 福岡営業所
 ニッタ株式会社 福岡営業所
 日本通運株式会社 福岡支店
 日本エアーテック株式会社 九州営業所
 日本測器株式会社 久留米営業所
 日本ファインテック株式会社
 ヴァイサラ株式会社
 パーソルクロステクノロジー株式会社
 株式会社羽野製作所
 株式会社ピーエムティー
 株式会社日立ハイテック 九州支店
 株式会社日立プラントサービス 九州支店
 平井精密工業株式会社
 株式会社ファクテム
 一般財団法人ファジィシステム研究所
 株式会社福岡銀行
 福岡県
 公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団
 福岡工業大学
 福岡市
 福岡大学
 フジアルテ株式会社
 藤森工業株式会社 九州営業所
 豊洋精工株式会社 福岡工場
 株式会社マイナビ 福岡支社
 株式会社マイナビEdge 九州営業所
 マクセル株式会社ライフソリューション事業本部
 松田産業株式会社 福岡営業所
 マトリクス・エスティ株式会社
 三浦工業株式会社 福岡支店
 三菱電機株式会社 九州支社
 三菱電機システムサービス株式会社 九州支社

三菱電機株式会社 パワーデバイス製作所
 室町ケミカル株式会社
 メルコヒューマンポート株式会社 九州支店
 八洲貿易株式会社 九州支店
 株式会社安川電機
 安川メカトロニック末松九機株式会社
 山口大学大学院 技術経営研究科
 ヤマトマテリアル株式会社
 株式会社ユーエスアイ
 横河ソリューションサービス株式会社 北九州支店
 吉川工業株式会社
 吉塚精機株式会社
 リクルーティング・パートナーズ株式会社
 理研計器株式会社 福岡営業所
 リックス株式会社
 株式会社リベル
 株式会社RYODEN 西日本支社
 ローム・アポロ株式会社
 ロジスティード九州株式会社
 株式会社ロジック・リサーチ
 株式会社ワールドインテック
 早稲田大学 大学院

佐賀県

アシック株式会社
 共立エレクトクス株式会社
 佐賀県
 佐賀大学
 株式会社SUMCO 九州事業所
 国立研究開発法人 産業技術総合研究所九州センター
 田口電機工業株式会社
 日清紡マイクロデバイスAT株式会社
 日本タングステン株式会社 基山工場

長崎県

アイティーアイ株式会社
 イサハヤ電子株式会社
 株式会社ウラノ 長崎工場
 エア・ウォーター株式会社 長崎ガスセンター
 カンケンテクノ株式会社
 KMT株式会社
 佐世保工業高等専門学校
 JDC株式会社
 株式会社システック井上
 株式会社十八親和銀行
 新生電子株式会社 佐世保工場
 東京エレクトロン デバイス長崎株式会社
 長崎県
 長崎大学
 NITTOKU株式会社 長崎事業所
 マコー株式会社 長崎事業所
 湯川王冠株式会社

熊本県

赤山学園 九州技術教育専門学校
株式会社旭製作所
株式会社アスカインデックス
アルバック販売株式会社
出光リテール販売株式会社 九州カンパニー 南九州営業所
株式会社インターテックエンジニアリング
インフィコン株式会社 九州営業所
NECプラントエンジニアリング株式会社
応用電機株式会社
株式会社大津テック
株式会社オジックテクノロジーズ
株式会社九州C-I-C研究所
九州電子株式会社
九州日誠電気株式会社
株式会社くまさんメディクス
株式会社熊本銀行
熊本県
一般社団法人 熊本県工業連合会
熊本高等専門学校
公益財団法人 くまもと産業支援財団
熊本大学
熊本防錆工業株式会社
一般財団法人 材料科学技術振興財団
櫻井精技株式会社
シナジーシステム株式会社
株式会社スリーダイノ
崇城大学
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
東京エレクトロン九州株式会社
西川計測株式会社 西九州支店 熊本営業所
日研トータルソーシング株式会社 熊本事業所
日精電子株式会社
株式会社野毛電気工業 九州事業部
株式会社肥後銀行
平田機工株式会社
株式会社藤興機
株式会社フジワーク
株式会社ブリバテック
株式会社堀場アドバンステクノ 九州中央セールスオフィス
株式会社マイスティア
三菱電機ロジスティクス株式会社 熊本事業所
郵船ロジスティクス株式会社 熊本営業所

大分県

株式会社ウエキコーポレーション
株式会社AKシステム
株式会社AK電子
エスティケイテクノロジー株式会社
株式会社エリア
大分県
大分県LSIクラスター形成推進会議
大分工業高等専門学校

大分大学 理工学部
大分デバイステクノロジー株式会社
大分電子工業株式会社
株式会社九州セミコンダクターKAW
株式会社佐々木精工
株式会社ジャパンセミコンダクター
株式会社スズキ
株式会社TMH
株式会社デンケン
株式会社ネオス
株式会社ネットワーク

宮崎県

旭化成エレクトロニクス株式会社
旭化成マイクロテクノロジー株式会社
えびの電子工業株式会社
株式会社エフオーテクニカ
株式会社サニー・シーリング
株式会社システム技研
株式会社清和金属製作所
三井化学EMS株式会社
宮崎県
宮崎大学
吉玉精錬株式会社
ラビスセミコンダクタ株式会社

鹿児島県

稲畑産業株式会社 九州営業所
鹿児島県
鹿児島大学
キリシマ精工株式会社
クルーシャル・クーリング・パフォーマンス株式会社
フェニテックセミコンダクター株式会社 鹿児島工場
株式会社藤田ワークス

その他の都道府県

株式会社アサダメッシュグループ本社
株式会社アムコー・テクノロジー・ジャパン
イーヴィグループジャパン株式会社
株式会社イノベント
株式会社SIJテクノロジー
SGSジャパン株式会社
株式会社エムトピア
特定非営利活動法人 LPI-Japan
株式会社OSナノテクノロジー
キャディ株式会社
国際ビジネスコンサルティング事業協同組合
株式会社産業タイムズ社
CCTECH JAPAN株式会社
株式会社SEALS
JSR株式会社

JFEテクノリサーチ株式会社
株式会社シキノハイテック
芝浦エレテック株式会社
株式会社ジャパンクリエイイト
ジャパンコーヨン株式会社
神鋼商事株式会社
スペクトロニクス株式会社
SEMIジャパン
株式会社ソルトン
株式会社ダイコーテクノ
大和化学工業株式会社
辰野株式会社
株式会社地圏環境テクノロジー
株式会社DNPエル・エス・アイ・デザイン
TEGソリューション株式会社
株式会社テラプローブ
東京ドローイング株式会社
東洋ワーク株式会社
株式会社トヨックス
ナグモ産業株式会社
鍋林株式会社
株式会社西村ケミテック
株式会社ニチワ工業
日新運輸工業株式会社
一般社団法人 日本電子デバイス産業協会
日本徳森精密株式会社
株式会社日本マイクロニクス
株式会社ハイテック・システムズ
一般社団法人 パワーデバイス・イネープリング協会
一般社団法人 半導体産業人協会
株式会社ビーネックステクノロジー
株式会社ビレッジアレイ
ヒロホー株式会社
フォームファクター株式会社
藤倉コンポジット株式会社
株式会社堀内電機製作所
三井不動産株式会社
三ツ星ベルト株式会社
ヤマト運輸株式会社
六甲電子株式会社

(註)個人会員及び掲載不可の会員を除く

事務局便り

会員の皆様には平素よりSIIQ運営、事業にご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

SIIQは2002年の設立以降、20年以上に亘って活動を継続してきました。その積み上げてきた会員間の連携を基盤とし、デジタル社会を支える新生シリコンアイランドの実現に向け、2023年度は一般社団法人として独立し、また団体名も進化させた『新生SIIQ』としてのスタートを切る大きな節目を迎えた一年になりました。

SIIQ会員の皆様のご支援のお陰で、過去3年間で90団体もの新たな御入会をいただき、会員数の増加率は40%以上となり、SIIQ設立以降で最も大きな結果となりました。また、物流、金融など様々な事業分野の団体様にもご参加していただき、SIIQの活動範囲を拡充・拡大する原動力になっています。

また、2023年度から一般社団法人としての活動を継続的に展開していくために、SIIQ事務局に新たに事務局長を迎え、またコーディネーターアシスタントも加わり、事務局機能の強化も実施しました。今後とも変わらず会員の皆様方のお役に立てる事業展開を進めてまいります。

最近はコロナ禍の制約も解除されつつあり、連携強化のための交流も活性化してきました。SIIQとしても会員の皆様方と対面でお会いできる機会を少しでも増やし、様々な視点での交流を進めてまいります。SIIQ事業で多くの皆様方とお会いできる機会を楽しみにしております。

最後になりますが、長年SIIQ事務局を牽引していただいた牧野豊様が退職されました。そのご尽力に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

(SIIQ事務局)

SIIQ事務局紹介

事務局長  藤井 博信 趣味：痕跡探求 SIIQのプレゼンスを高め、九州半導体関連産業の発展の一助となるよう尽力します。 (経済産業省 九州経済産業局出身)	コーディネーター  古賀 幸治 得意分野：経営企画 趣味：読書、釣り 魅力的な企画ができるよう頑張ります。 (ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)からの出向)	コーディネーター  神田 誠 得意分野：半導体組立技術 趣味：ゴルフ 会員の皆様のお役に立てよう頑張ります。 (三菱電機(株)からの出向)	コーディネーター  松尾 伸也 得意分野：半導体後工程 趣味：模型製作 九州半導体関連企業の発展の一助に努めます。 (日清紡マイクロデバイスAT(株)出身)
コーディネーター  岩村 義久 得意分野：半導体プロセス 趣味：旅行、競技麻雀 九州半導体及び会員企業様の発展の為に尽力いたします。 (ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)からの出向)	コーディネーターアシスタント  折久木 志帆 趣味：ドラマ鑑賞 会員の皆様のご期待に添えますよう頑張ります。 (㈱ワールドインテックからの出向)	事務担当  永田 理恵 迅速、丁寧な対応で、会員の皆様のお役に立ちます。	事務担当  足柄 知佳 縁の下の力持ちになれるように頑張ります。

●詳細情報は右記ホームページから

WEBで検索

SIIQ

検索

<https://www.siiq.jp>

当会報誌掲載情報についてのお問い合わせは SIIQ 事務局まで

●一般社団法人九州半導体・デジタルイノベーション協議会 会報
[SIIQ PRESS Vol.33] 2024年3月 発行

●発行・編集：一般社団法人九州半導体・デジタルイノベーション協議会
Tel. 092-473-6649 E-mail : info@siiq.or.jp